



自民党 前神戸市会議員(長田区選出)

平井まち子

まちこPRESS VOL.16

発行/平井まち子事務所 <http://www.55machiko.jp> E-mail:machiko.h@earth.ocn.ne.jp

参加レポート

自民党 全国各級女性議員 政策研究会

全国から女性議員が大集合！

平成21年11月11日、12日の2日間にわたり、党本部にて開催された自由民主党 全国女性議員政策研究会に、元議員として兵庫県を代表し参加してきました。全国から71名の女性議員が8項目の講演を受講いたしました。党女性局主催のこの研究会、講師となる国会議員の得意分野についてじっくり忌憚のない話を聴く機会であり、有意義と思い毎回参加しています。



国、地方の課題を意見交換

初日は組織運動本部長 石原伸晃衆議院議員、女性局長の丸川珠代参議院議員の挨拶で開会。研修①は全般的な政策課題を政務調査会長 石破茂衆議院議員が、研修②では“日本と地球の守り方”を小池百合子衆議院議員が講演。その後懇談会が開催され、谷垣総裁はじめ党役員が集まりました。参加者同士が、それぞれの選挙区の現状や政策課題を情報交換しあうなど和気あいの雰囲気です。

2日目は、研修③“党運営について”幹事長 大島理森衆議

院議員、研修④“地域主権と地方再生”を谷公一衆議院議員、研修⑤“人創りこそ国造り～教育再生を目指して～”を義家弘介参議院議員、研修⑥“イノベーションで拓く日本の未来”を高市早苗衆議院議員が務められました。

石破議員は「首相や大臣がころころ変わっては政治主導はできない。喜ぶのは官僚と大臣になりたがる政治家だけ」「日本は中福祉、低負担」など、日本の政治の課題を挙げ「誠実と謙虚の自民党に戻らなければならない」と提言。その他、ヤンキー先生と呼ばれた義家議員は教育現場の実態について熱弁、「小学校での英語教育は必要と思うか？」との問いかけに会場の反応は半分に分かれ、教育の中身についての議論を深める重要性を感じました。高市議員は補助金や減税を含むイノベーション推進の必要性に言及、これは地方においても実践課題であります。その後は外部講師による講義が行われ、終了しました。

この研究会は女性ならではの熱気があって良い雰囲気なのですが、質疑応答の時間に一方的な要望をまくしたてるような場面には、「地方分権実現のためには地方議員がもっとレベルアップしないとイケないな」との思いになります。



女性が元気の街や組織には活気があります。知性を磨き、女性のたくましさを活かして、政治不信を払い不況の世の中を明るくしたいと意気込みを新たにしました。



若手有志の「伝統と創造の会」会長を務める稲田朋美衆議院議員と。家族、ふるさと、伝統を守るという理念ある行動力を見習いたい。

平井まち子 プロフィール □1976年神戸市長田区生まれ(33歳)

□池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業 □神戸電子専門学校を修了、広告代理店に勤務し、タウン情報誌の制作などに携る □29歳の2005年10月の神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選 □2007年市会議員選挙で**5,413**票をいただくも**10票差**で惜しくも次点。女性の目線と若い力で活力ある神戸を目指して活動中！



現在

- 長田神社氏子会参与
- 神戸金型工業会相談役
- 長田鮪商組合顧問
- 神戸あじさいライオンズクラブ会員
- 中小企業家同友会会員
- 池田自治会相談役 など